

新庁舎建設事業に係る設計内容報告及び意見交換会

日 時：平成 29 年 5 月 12 日 18：03～19：43

場 所：一湊公民館

参加者： 住民 13 人

内 容

住民) 意見交換ということで事業の件と、旧庁舎の利用の件と、林業振興ということにちょっと絞られているので、話が難しいんですが。林業振興、松下先生にいろいろ話を伺って地域循環構造という説明をいただいて、今回、新庁舎全く問題ないと思っているんですけども、20 億という大きなお金が動くにあたって、実際、一番最初に屋久島の中に落ちる予算はどれくらいなのかが見えてないので、もうわかっているのか、これからなのかはわかりませんが、この数字がわかればということと、この林業振興ということで、島外に向かっての販路を開拓していくという話もありまして、それを町としてやっていくのであれば、将来的に年度単位でどのくらいの数字を出す目標があつて、それをどうやってコミットし、検証していくのかというところまでお話していただければありがたいと思います。それとですね、新庁舎の目標の 1 つとして職員の削減という話をされていたので、ちょっと話をさせていただきますが、一つのところに人員を集中させて、人員が削減されるというコンセプトを持っているところで、成功した事例をあんまり見たことがないですね。当然、庁舎は多分合理的に造られていて、役所の方もそれなりにワークショップで話されているので、問題ないかと思うんですが、そこに関わる多分総合案内所とかもつくるんで、そこに新たな人員も増えるかと思いますが、その他、人が異動したことによってシステムの改変であるとか、マニュアルの見直しであるとか、そもそも各支所にいた方がまとまることによって、人が持っているノウハウであるとか、というのが、例えば削減することによって、それがうまく使われなくなってしまったとか、次の世代に引き継がれなかったりとか、また、やり方が微妙に違って、アウトプットが大方なだけども、非合理的な方法になってしまうんじゃないかということが考えられないではないと思うので、これから大分先のことでありますけれども、そういうことに対しての役場の中での PK であるとか、今考えている方々の中でそういうスケジュールを組む予定があるのかどうかとか、ということも含めてご報告いただければわかりやすいかなと思っております。よろしくをお願いします。

進行) はい ありがとうございます。 要望も含めてございましたけれども、一つは林業振興についての地域循環構造における、林業振興の、ある意味その経済波及効果のようなことを計算されているのかということかと思いますが。その点については私の方で産業連関については計算をしております。しかし、それが実際にそのようになるかどうかということは、非常に難しい話になると思っておりますが、3 年間ってことで、確か産業連関で十数億、12 億くらいの計算をしたと思います。これはあくまでも数字がそのようになるかどうかは、実際に具体的に、いま、先ほど最後に話しました販路先ですね、そことの連携で、確実に連携していくことは避けられないだろうと。まあそれをするということによって可能性が広がるということで、販路を動かしていくと。そのための体制を整えていくというところがあります。その 2、庁舎を、先ほど屋久島トラスだとか話をしましたけれど、その点においても波及効果というというのは全く計算しておりませんし、それが実際に可能かどうかということ是非常に今からのことですので、それについても検討はしておりません。すみません。それから 1 点目については私

のほうで答えさせていただきましたけど、2点目の職員の削減、そこらあたりにおけるシステムの問題等についてですね、町のほうからお答えを頂きたいと思います。

よろしくをお願いします。

町) 先ほど1番目の質問にありました、町内への支払額、につきましては今のところ約93.66%で約18億円が町内の業者に支払われるというふうに見込んでおります。2点目の職員の削減につきましては、一か所に集中することによって、一人の職員が1.5倍の仕事をすれば削減ができるという単純な考えも持っているんですが、例えば霧島市でありますとグループ制というのをとっています。同じグループ、何々グループということで、みんなが同じような認識を持つ、仕事をできると。うちの方は、安房支所、栗生出張所、永田出張所、口永良部出張所、支所と、安房の支所とあとの出張所につきましては、全て総合窓口でございます。安房支所におきましても、福祉事務所があるんですが、国保の手続きであったりとか、町営住宅の手続きであったりとか、税の証明とか、そういうことも今やっておりますので、今後3支所が全て総合窓口になるということで、それらの職員のスキルアップは勿論必要ですが、そういうことで対応できるのかなとは思っています。ただ冒頭申し上げましたとおり、推進室のほうで今後、機構の見直しをしていくということもしておりますので、その機構の見直しの仕方で削減できるのか、どういう形で削減が可能なのかということもまた検討はしていきたいと思っております。

進行) はい ありがとうございます。ほか質問ございますか。

町) 皆様から意見が出ないようなんですけれども、ここでいえば宮之浦支所ですね、宮之浦支所が規模が小さくなります。庁舎が空いてくるんですけれども、安房支所も尾之間支所も一緒なんですけれども、その利活用ということで、今まで説明会をしてきました。栗生・中間地区におきましては、老人ホーム的なものがないから尾之間庁舎を老人ホームにしてよとかですね、神山校区であれば今、図書室が狭いから図書室を、尾之間の庁舎に移してよとか、そういうご意見もありましたので、皆様方いちばん近いところで、宮之浦支所ですね。宮之浦支所の活用であったりとか、あと近くの永田出張所のあり方ですとか、そういうご意見もあればと思っております。

進行) はい よろしくをお願いします。

住民) 宮之浦支所の移転後のことについてちょっとお願いをしときたいと思うんですが、私、今、文化協会の役員をしております、これ長年の文化協会の会員の念願でありますけれども、文化祭を年に一回やるんですが、地域性の関係で安房の総合センターと宮之浦の屋久島町離島開発総合センターとで毎年交互にやっております。それでその使い方なんです、宮之浦の総合センターのホールは大きいんですが、展示場が少ないんです。それで非常に会員の人達が作品を展示するのに困っているという実情がありますので、是非ですね宮之浦支所の活用について、できれば年中そういう展示ができる、会員の皆さんとか町民の皆さんがそういう展示ができるような施設にしてほしいのと、それで文化祭があるときはそこを使えるようなスペースにさせていただいて、そして文化祭を、展示物をそこで展示すると、というような方法を是非お願いをしたいと思っております。以上です。

進行) はい ありがとうございます。今のは要望として伺っていく必要があると思います。

住民) 質問というわけじゃないですけど。役場の皆さんはこの一湊校区で、これだけの出席を見てどう思いますか。

町) 昨日、永田のほうで説明会をやりました。その中でもやっぱり、町報等で広報はしてるんですが、事前の広報がないんじゃないのというご意見を頂きました。今日防災無線において、一湊校区において防災無線で広報したんですが。まあ若干広報不足もあるのかなと思いつつも今日を迎えております。

住民) 私はそういう回答は求めていないんだけど。結局ね、これだけのメンバーということは、この校区から町会議員が3名出ているんですよ。ということはこの町会議員の3名の役割というのは、合併してから500票近い数字をとらないと議員に当選しない。それだけの重荷を背負ってね、議会の議場でこの庁舎建設に関わることをね、侃々諤々更に何年もかけて討論して、始まったことですね。ここにこれだけの出席者がいないということであるということは、もう新庁舎建設はこの校区は認知しているということです。議会議員は立派な3名ですから、この議会議員が議場でいろいろ侃々諤々してきて今日に至っているわけですから、この議員さんたちを私たちは町民の代表、校区民の町民の代表として議場に送っているわけで、もうこの人達が民主主義、順番をとってね、町長も一生懸命の議会対応もし、何十回もしてきたと思うんです。その中でやっとこれに行き着いた。本来ここで支所とか出張所のあり方なんかを検討する話なんか僕はないと思っているんですよ。それは当然あんたたちが考えることなんですよ。さっきちょっとあった町民目線とかなんかあればね。当然それは役場がフォローしなければならない。だから、なんていえばいいのかなあ、サイレントマジョリティ声なき声というか言いたくも言えない人たちもいるかもしれない。だけど僕はほとんどが認知していると。だけど署名活動があり、リコールがあり、町長はリコールされなかったけど。そういった町民の大多数が庁舎建設をもう認めているんだよと。だからあなたたちは自信をもって、うろたえないでね、自信をもって進めてほしい。そしてもう一つ、さっき〇〇さんが話したけど、その職員の定数ね。これはあんたたちが合併した当時から、新町まちづくり計画の中で職員定数を130に持っていくよと、約束事を示して合併してきたわけね。その後にもう10年近くなるのかな。職員、定員の定数適正化計画というのは今役場にありますか。ないでしょう。それはあの10年前の合併の時に約束事をしているわけよね。職員定数管理、適正化計画というのを。必ずそれは県庁にも届けなければいけない。職員の給与実態と一緒にですよ。定員管理調査というのがあるでしょう。それさえもつくられてないのに、言葉の中で減らします、減らしますと、目標設定ができていないのにできるはずがないんだから。自信を持ってね、先ず定員管理適正計画を作り、その到達度というのを職員皆が共有しなければいけない。だから自信を持ってね、庁舎建設については進めていただきたい。であとはね、ここでいう話じゃないけど、屋久島地域のね、光ファイバーの充実を進めてほしい。あんたたちは南種子と中種子から今年はとられているよ。知ってる？屋久島が早く手を上げないから、何年も置いて行かれる。早く光を、次はどうしても南と中がすればあと何年も補助金はもらえないぞ。どっちにしても、そういったことも考えて、今のホールなんかも観光客がどうのこうのというけど、立派なホールですよ。もう素晴らしいと思いますよ、庁舎。だからそこも島の光の環境が整わないと人も来ない、そこを考えてください。あと一つ、公共施設等整備なんとか基金と

というのが6億くらいでたでしょう。あれはこの庁舎のためだけではないでしょう。

町) だけではないです。

住民) 6億はどのくらいいくの、これに投入されるのは。要は公共施設等だから、ここに全部持っていっちゃうと、あとの施設が災害でも起きたとき、対応できない。だからそこも12.5%つていけばいくくらいになるの。

町) 2億3千万円くらいですね。

住民) だからそこはたしか整備等基金だったはず、ねっ。そこはまあお金が足りなくなったから庁舎に回すなんて考えは持たないでほしい。それからもう一つは支所のあり方、これは人を増やすことよりも、光とか通信の関係をすれば十分に足りると思うので、近々にそのヒアリングのことも土俵に上げてしていただきたい。自信をもって進めてください。

進行) ご丁寧なご要望頂きましたので、しっかりとやって進めていただきたいと思います。よろしくをお願いします。ほか ご意見ございますか。今日は少し意見が少くのうございますけれども、一応これでご意見がないようであれば終わりたいと思いますけどよろしいでしょうか。はい。ありがとうございました。

終了